

英語：文学部英語英米文学科専門科目

【表の見方】

※開講年度によって教科に関する科目の取り扱いが異なることがあるので注意すること。

● 1～5：● 1～5のそれぞれで、必ず1科目以上修得しなければならない科目。

○：教科に関する科目の修得単位数に認められる科目。

/：教科に関する科目の修得単位数に認められない科目。

科目名の前に付いている記号

◎：教職課程履修者は、履修することが望ましい科目。

☆：文学部英語英米文学科専門科目として2019年度に開講された「アメリカ文学史(2)」「イギリス小説1(2)」「イギリス小説3(2)」は、下表の科目とは別科目のため、教職の「教科に関する科目」として認められないため注意すること。

【教科に関する科目の最低修得単位（※● 1～5の単位をそれぞれ含むこと。）】

2019年度以降入学者 中学校：24単位 高等学校：28単位

2018年度以前入学者 中学校：28単位 高等学校：36単位

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度				
			2022	2021	2020	2019	2018
英語学	英語学研究入門1	(2)	● 1	● 1	● 1	● 1	● 1
	英語学研究入門2	(2)	● 1	● 1	● 1	● 1	● 1
	英語学1	(2)	● 1	● 1	● 1	● 1	● 1
	英語学2	(2)	● 1	● 1	● 1	● 1	● 1
	English Linguistics 1	(2)	● 1	● 1	● 1	● 1	● 1
	English Linguistics 2	(2)	● 1	● 1	● 1	● 1	● 1
	英米文化専門講読10	(2)	○	○	○	○	○
	英米文化専門講読11	(2)	○	○	○	○	○
	英語の歴史1	(2)	○	○	○	○	○
	英語の歴史2	(2)	○	○	○	○	○
◎ 英語の発音1	(2)	○	○	○	○	○	
◎ 英語の発音2	(2)	○	○	○	○	○	
英語文学 / 英米文学	イギリス研究入門2	(2)	● 2	● 2	● 2	● 2	● 2
	イギリス研究入門3	(2)	/	/	/	/	● 2
	イギリス研究入門4	(2)	● 2	● 2	● 2	● 2	● 2
	イギリス研究入門5	(2)	● 2	● 2	● 2	● 2	● 2
	イギリス文学史1(詩)	(2)	● 2	● 2	● 2	● 2	● 2
	イギリス文学史2(劇)	(2)	● 2	● 2	● 2	● 2	● 2
	イギリス文学史3(小説)	(2)	● 2	● 2	● 2	● 2	● 2
	☆ アメリカ文学史	(2)	● 3	● 3	● 3	● 3	● 3
	アメリカ詩1	(2)	● 3	● 3	● 3	● 3	● 3
	アメリカ詩2	(2)	● 3	● 3	● 3	● 3	● 3
	アメリカ演劇1	(2)	● 3	● 3	● 3	● 3	● 3
	アメリカ演劇2	(2)	● 3	● 3	● 3	● 3	● 3
	アメリカ小説1	(2)	○	○	○	○	● 3
	アメリカ小説2	(2)	○	○	○	○	● 3
	アメリカ小説3	(2)	○	/	/	/	/
	英米文化専門講読2	(2)	○	○	○	○	○
	英米文化専門講読3	(2)	/	/	/	/	○
	英米文化専門講読4	(2)	○	○	○	○	○
	英米文化専門講読5	(2)	○	○	○	○	○
	イギリス詩1	(2)	○	○	○	○	○
	イギリス詩2	(2)	○	○	○	○	○
	イギリス詩3	(2)	○	○	○	○	○
	イギリス演劇1	(2)	○	○	○	○	○
	イギリス演劇2	(2)	○	○	○	○	○
	イギリス演劇3	(2)	○	○	○	○	○
	☆ イギリス小説1	(2)	○	○	○	○	○
イギリス小説2	(2)	○	○	○	○	○	
☆ イギリス小説3	(2)	○	○	○	○	○	

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度				
			2022	2021	2020	2019	2018
英語コミュニケーション	Academic Writing 1	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	Academic Writing 2	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	Global Issues 1	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	Global Issues 2	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	Business Communication 1	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	Business Communication 2	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	Literature and Culture 1	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	Literature and Culture 2	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	English for Children 1	(2)	/	/	/	/	●4
	English for Children 2	(2)	/	/	/	/	●4
	Focus on Listening and Reading 1	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	Focus on Listening and Reading 2	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	Writing Workshop 1	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	Writing Workshop 2	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	Academic Skills 1	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	Academic Skills 2	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	英語集中セミナー1	(1)	/	/	/	/	●4
	異文化理解	イギリス研究入門1	(2)	○	○	○	○
アメリカ研究入門1		(2)	●5	●5	●5	●5	●5
アメリカ研究入門2		(2)	○	○	○	○	●5
アメリカ研究入門3		(2)	●5	●5	●5	●5	●5
日英語の発想と表現		(2)	●5	●5	●5	○	○
Thought and Expression in English		(2)	●5	●5	●5	○	○
英米文化専門講読1		(2)	○	○	○	○	○
英米文化専門講読6		(2)	○	○	○	○	○
英米文化専門講読7		(2)	○	○	○	○	○
英米文化専門講読8		(2)	○	○	○	○	○
イギリス伝承文学1		(2)	/	/	/	/	○
イギリス伝承文学2		(2)	/	/	/	/	○
イギリス伝承文学3		(2)	/	/	/	/	○
イギリス伝承文学4		(2)	/	/	/	/	○
イギリス文化史		(2)	○	○	○	○	○
イギリスの文化と芸術1		(2)	○	○	○	○	○
イギリスの文化と芸術2		(2)	○	○	○	○	○
英米芸術史		(2)	○	○	○	○	○
英語圏の映画と映像1		(2)	○	○	○	○	○
英語圏の映画と映像2		(2)	○	○	○	○	○
英語圏の映画と映像3		(2)	○	○	○	○	○
英語圏の映画と映像4		(2)	○	○	○	○	○
英語と社会・文化1		(2)	○	○	○	○	○
英語と社会・文化2		(2)	○	○	○	○	○

国語：文学部日本語日本文学科専門科目

【表の見方】

※開講年度によって教科に関する科目の取り扱いが異なることがあるので注意すること。

●1～6：●1～6のそれぞれで、必ず1科目以上修得しなければならない科目。

○：教科に関する科目の修得単位数に認められる科目。

／：教科に関する科目の修得単位数に認められない科目。

【注意事項】

(1) A.Bの履修ルール：「シラバス」に記載のとおりとする。

(2) 科目名の前に付いている記号

☆：中一種免許状取得については、「書道」の科目をいずれか1科目必修とする。

なお、「書道」の科目は高一種免許状取得のための単位には算入されない。

【教科に関する科目の最低修得単位（※●1～6の単位をそれぞれ含むこと。）】

2019年度以降入学者 中学校：24単位（書道●6を含む） 高等学校：28単位（書道●6を除く）

2018年度以前入学者 中学校：28単位（書道●6を含む） 高等学校：36単位（書道●6を除く）

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度				
			2022	2021	2020	2019	2018
国語学 (音言言語及び文章表現に関するものを含む。)	日本語学概論A	(2)	●1	●1	●1	●1	●1
	日本語学概論B	(2)	●1	●1	●1	●1	●1
	基礎論文演習(文章表現)	(1)	●2	●2	●2	●2	●2
	日本語の歴史A	(2)	○	○	○	○	○
	日本語の歴史B	(2)	○	○	○	○	○
	日本語文法研究の方法	(2)	○	○	○	○	○
	日本語語彙研究の方法	(2)	○	○	○	○	○
	日本語音声研究の方法	(2)	○	○	○	○	○
	方言研究の方法	(2)	○	○	○	○	○
	日本語教育研究の方法	(2)	○	○	○	○	○
	日本語の形態と構文	(2)	○	○	○	○	○
	日本語の意味と語彙	(2)	○	○	○	○	○
	日本語の音声とアクセント	(2)	○	○	○	○	○
	日本語の文体と語法	(2)	○	○	○	○	○
	日本の漢字と国語辞書	(2)	○	○	○	○	○
	日本語の敬語	(2)	○	○	○	○	○
	日本古典文学史1	(2)	●3	●3	●3	●3	●3
	日本古典文学史2	(2)	●3	●3	●3	●3	●3
	日本古典文学史3	(2)	●3	●3	●3	●3	●3
	日本古典文学史4	(2)	●3	●3	●3	●3	●3
日本近代文学史A	(2)	●4	●4	●4	●4	●4	
日本近代文学史B	(2)	●4	●4	●4	●4	●4	
上代文学研究の方法	(2)	○	○	○	○	○	
中古文学研究の方法	(2)	○	○	○	○	○	
中世文学研究の方法	(2)	○	○	○	○	○	
近世文学研究の方法	(2)	○	○	○	○	○	
近現代文学研究の方法	(2)	○	○	○	○	○	
神話の世界	(2)	○	○	○	○	○	
古代和歌の世界A	(2)	○	○	○	○	○	
古代和歌の世界B	(2)	○	○	○	○	○	
物語の世界A	(2)	○	○	○	○	○	
物語の世界B	(2)	○	○	○	○	○	
日記の世界	(2)	○	○	○	○	○	
随筆の世界	(2)	○	○	○	○	○	
軍記の世界	(2)	○	○	○	○	○	
説話の世界	(2)	○	○	○	○	○	
中世和歌の世界	(2)	○	○	○	○	○	
近世小説の世界	(2)	○	○	○	○	○	
俳諧の世界	(2)	○	○	○	○	○	
近代小説の世界	(2)	○	○	○	○	○	
現代小説の世界	(2)	○	○	○	○	○	
近現代詩歌の世界	(2)	○	○	○	○	○	
同時代文学の世界	(2)	○	○	○	○	○	
文字と文学	(2)	○	○	○	○	○	
文学と子ども	(2)	○	○	○	○	○	
漢文学	漢文学概説A	(2)	●5	●5	●5	●5	●5
	漢文学概説B	(2)	●5	●5	●5	●5	●5
	漢文学研究の方法	(2)	○	○	○	○	○
	漢字の世界	(2)	○	○	○	○	○
	漢詩漢文の世界	(2)	○	○	○	○	○
	日中比較言語・文学の世界	(2)	○	○	○	○	○
書道(書写を中心とする。)	☆ 書道A	(1)	●6	●6	●6	●6	●6
	☆ 書道B	(1)	●6	●6	●6	●6	●6

社会：国際交流学部国際交流学科専門科目等

【表の見方】

※開講年度によって教科に関する科目の取り扱いが異なることがあるので注意すること。

●1～8：●1～8のそれぞれで、必ず1科目以上必ず修得しなければならない科目。

○：教科に関する科目の修得単位数に認められる科目。

/：教科に関する科目の修得単位数に認められない科目。

【注意事項】

(1) A,Bの履修ルール：「シラバス」に記載のとおりとする。

(2) 「哲学A / 哲学A (2)」「哲学B / 哲学B (2)」はCL Aコア科目。

【教科に関する科目の最低修得単位 (※●1～8の単位をそれぞれ含むこと。)]

2019年度以降入学者 中学校：24単位

2018年度以前入学者 中学校：28単位

※本学では、地理歴史・公民の免許の両方取得する必要があるため、教科に関する科目の修得単位の計算は地理歴史・公民で確認すること。

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度				
			2022	2021	2020	2019	2018
日本史・外国史 / 日本史及び外国史	日本史概説A	(2)	●1	●1	●1	●1	●1
	日本史概説B	(2)	●1	●1	●1	●1	●1
	世界史概説A	(2)	●2	●2	●2	●2	●2
	世界史概説B	(2)	●2	●2	●2	●2	●2
	東アジア・東南アジアの近・現代史A	(2)	/	○	○	○	○
	東アジア・東南アジアの近・現代史B	(2)	/	○	○	○	○
	東アジアの近・現代史A	(2)	○	○	/	/	/
	東アジアの近・現代史B	(2)	○	○	/	/	/
	ヨーロッパ近代史	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ現代史	(2)	○	○	○	○	○
	横浜学総論	(2)	○	○	○	○	○
	日米関係史	(2)	○	○	○	○	○
	近代日本と国際関係	(2)	○	○	○	○	○
	現代日本と国際関係	(2)	○	○	○	○	○
	歴史からみるスペイン語圏	(2)	○	○	○	○	○
	中国近代史	(2)	○	○	○	○	○
	中国現代史	(2)	○	○	○	○	○
	韓国現代史	(2)	○	○	○	○	○
	北朝鮮現代史	(2)	○	○	○	○	○
	北ヨーロッパの歴史	(2)	○	○	○	○	○
	現代アメリカ論1	(2)	○	○	○	○	○
	現代アメリカ論2	(2)	○	○	○	○	○
	日本文化の原風景	(2)	○	○	○	○	○
	現代社会に見る日本文化	(2)	○	○	○	○	○
	フランス現代史	(2)	○	○	○	○	○
	歴史からみるドイツ	(2)	○	○	○	○	○
	スペイン現代史	(2)	○	○	○	○	○
	イギリス史1	(2)	○	○	○	○	○
	イギリス史2	(2)	○	○	○	○	○
	イギリス史3	(2)	○	○	○	○	○
	現代イギリス論	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカ史1	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカ史2	(2)	○	○	○	○	○
ロシアと現代中国	(2)	○	○	○	○	○	
近現代中国思想と日本	(2)	○	○	○	○	○	
地理学 (地誌を含む。)	人文地理学	(2)	●3	●3	●3	●3	●3
	自然地理学	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	地誌	(2)	●5	●5	●5	●5	●5
	地球環境	(2)	○	○	○	○	○
	世界の人口問題	(2)	○	○	○	○	○
	南アジアの経済	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ政治の基礎	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ統合論	(2)	○	○	○	○	○
	フランスの政治	(2)	○	○	○	○	○
	南アジアの労働	(2)	○	○	○	○	○
	アジアの国際関係	(2)	○	○	○	○	○
	ユーラシアの国際関係	(2)	○	○	○	○	○
	イギリスの政治と社会1	(2)	○	○	○	○	○
	イギリスの政治と社会2	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカの政治と社会1	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカの政治と社会2	(2)	○	○	○	○	○
	アフリカを学ぶ	(2)	○	○	○	○	○
	中東を学ぶ	(2)	○	○	○	○	○
ラテンアメリカの歴史と文化	(2)	○	○	○	○	○	

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度				
			2022	2021	2020	2019	2018
地理学（地誌を含む）	ヨーロッパ地域論	(2)	○	○	○	○	○
	イギリスの文化	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカの文化1	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカの文化2	(2)	○	○	○	○	○
	資源問題	(2)	○	○	○	○	○
	移住と文化の理論	(2)	○	○	○	○	○
	ラテンアメリカの文化と社会	(2)	○	○	○	○	○
「法学、政治学」	政治学概論	(2)	●6	●6	●6	●6	●6
	国際関係論	(2)	○	○	○	○	○
	人権保障と法	(2)	○	○	○	○	○
	近代国際関係史	(2)	○	○	○	○	○
	戦後国際関係史	(2)	○	○	○	○	○
	グローバル化と労働	(2)	○	○	○	○	○
	国際政治の基礎	(2)	○	○	○	○	○
	国際政治の見方	(2)	○	○	○	○	○
	国際機構と国際平和	(2)	○	○	○	○	○
	国際社会と法	(2)	○	○	○	○	○
	国際経済と法	(2)	○	○	○	○	○
	地域統合	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ政治思想史	(2)	○	○	○	○	○
	安全保障	(2)	○	○	○	○	○
	日本政治思想史	(2)	○	○	○	○	○
	法でみる世界A	(2)	○	○	○	○	○
	法でみる世界B	(2)	○	○	○	○	○
	ジェンダーと法	(2)	○	○	○	○	○
	法でみる社会A	(2)	○	○	○	○	○
	法でみる社会B	(2)	○	○	○	○	○
	比較人権論	(2)	○	○	○	○	○
	比較政治制度論	(2)	○	○	○	○	○
	「社会学、経済学」	社会学概論A	(2)	●7	●7	●7	●7
社会学概論B		(2)	●7	●7	●7	●7	●7
グローバル化する社会		(2)	○	○	○	○	○
グローバル経済		(2)	○	○	○	○	○
日本経済の歴史		(2)	○	○	○	○	○
現代の日本経済		(2)	○	○	○	○	○
統計で学ぶ社会問題（基礎）		(2)	○	○	○	○	○
統計で学ぶ社会問題（応用）		(2)	○	○	○	○	○
国際経済学		(2)	○	○	○	○	○
途上国と開発経済学		(2)	○	○	○	○	○
近代グローバル経済の発展		(2)	○	○	○	○	○
開発援助論		(2)	○	○	○	○	○
国際開発の理論と実践		(2)	○	○	○	○	○
グローバル・ビジネス		(2)	○	○	○	○	○
世界の格差と国際協力		(2)	○	○	○	○	○
市民社会の国際協力		(2)	○	○	○	○	○
アメリカと国際経済		(2)	○	○	○	○	○
国際交通ビジネス		(2)	○	○	○	○	○
ジェンダーと持続可能な開発（1）		(2)	○	○	○	○	○
ジェンダーと持続可能な開発（2）		(2)	○	○	○	○	○
身体と生命の社会学		(2)	○	○	○	○	○
現代家族と福祉		(2)	○	○	○	○	○
グローバル化する仕事と家族		(2)	○	○	○	○	○
在日外国人	(2)	○	○	○	○	○	
余暇と旅行	(2)	○	○	○	○	○	
民族問題から見た世界情勢	(2)	○	○	○	○	○	
コーポレート・ガバナンスと日本企業	(2)	○	○	○	○	○	
金融入門	(2)	○	○	○	○	○	
マーケティング論	(2)	○	○	○	○	○	
ヨーロッパ社会福祉史	(2)	○	○	○	○	○	
「哲学、倫理学、宗教学」	哲学A/哲学A（2）	(2)	●8	●8	●8	●8	●8
	哲学B/哲学B（2）	(2)	●8	●8	●8	●8	●8
	世界の宗教	(2)	○	○	○	○	○
	儒教と世界	(2)	○	○	○	○	○
	前近代の中国思想	(2)	○	○	○	○	○
	イスラームと世界	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ世界とキリスト教	(2)	○	○	○	○	○
	現代思想論	(2)	○	○	○	○	○
	イギリスの思想と宗教	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカの思想と宗教	(2)	○	○	○	○	○
	キリスト教と文化	(2)	○	○	○	○	○

地理歴史：国際交流学部国際交流学科専門科目

【表の見方】

※開講年度によって教科に関する科目の取り扱いが異なることがあるので注意すること。

●1～5：●1～5のそれぞれで、必ず1科目以上修得しなければならない科目。

○：教科に関する科目の修得単位数に認められる科目。

/：教科に関する科目の修得単位数に認められない科目。

【注意事項】

(1) A,Bの履修ルール：「シラバス」に記載のとおりとする。

【教科に関する科目の最低修得単位（※●1～5の単位をそれぞれ含むこと。）】

2019年度以降入学者 高等学校：28単位

2018年度以前入学者 高等学校：36単位

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度				
			2022	2021	2020	2019	2018
日本史	日本史概説A	(2)	●1	●1	●1	●1	●1
	日本史概説B	(2)	●1	●1	●1	●1	●1
	横浜学総論	(2)	○	○	○	○	○
	日米関係史	(2)	○	○	○	○	○
	近代日本と国際関係	(2)	○	○	○	○	○
	現代日本と国際関係	(2)	○	○	○	○	○
	日本文化の原風景	(2)	○	○	○	○	○
	現代社会に見る日本文化	(2)	○	○	○	○	○
	世界史概説A	(2)	●2	●2	●2	●2	●2
	世界史概説B	(2)	●2	●2	●2	●2	●2
外国史	東アジア・東南アジアの近・現代史A	(2)	/	○	○	○	○
	東アジア・東南アジアの近・現代史B	(2)	/	○	○	○	○
	東アジアの近・現代史A	(2)	/	/	/	/	/
	東アジアの近・現代史B	(2)	/	/	/	/	/
	ヨーロッパ近代史	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ現代史	(2)	○	○	○	○	○
	歴史からみるスペイン語圏	(2)	○	○	○	○	○
	中国近代史	(2)	○	○	○	○	○
	中国現代史	(2)	○	○	○	○	○
	韓国現代史	(2)	○	○	○	○	○
	北朝鮮現代史	(2)	○	○	○	○	○
	北ヨーロッパの歴史	(2)	○	○	○	○	○
	現代アメリカ論1	(2)	○	○	○	○	○
	現代アメリカ論2	(2)	○	○	○	○	○
	フランス現代史	(2)	○	○	○	○	○
	歴史からみるドイツ	(2)	○	○	○	○	○
	スペイン現代史	(2)	○	○	○	○	○
	イギリス史1	(2)	○	○	○	○	○
	イギリス史2	(2)	○	○	○	○	○
	イギリス史3	(2)	○	○	○	○	○
現代イギリス論	(2)	○	○	○	○	○	
アメリカ史1	(2)	○	○	○	○	○	
アメリカ史2	(2)	○	○	○	○	○	
ロシアと現代中国	(2)	○	○	○	○	○	
近現代中国思想と日本	(2)	○	○	○	○	○	
人文地理学及び自然地理学	人文地理学	(2)	●3	●3	●3	●3	●3
	自然地理学	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
	地球環境	(2)	○	○	○	○	○
	世界の人口問題	(2)	○	○	○	○	○
	資源問題	(2)	○	○	○	○	○
地誌	地誌	(2)	●5	●5	●5	●5	●5
	南アジアの経済	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ政治の基礎	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ統合論	(2)	○	○	○	○	○
	フランスの政治	(2)	○	○	○	○	○
	南アジアの労働	(2)	○	○	○	○	○
	アジアの国際関係	(2)	○	○	○	○	○
	ユーラシアの国際関係	(2)	○	○	○	○	○
	イギリスの政治と社会1	(2)	○	○	○	○	○
	イギリスの政治と社会2	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカの政治と社会1	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカの政治と社会2	(2)	○	○	○	○	○
	アフリカを学ぶ	(2)	○	○	○	○	○
	中東を学ぶ	(2)	○	○	○	○	○
	ラテンアメリカの歴史と文化	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ地域論	(2)	○	○	○	○	○
	イギリスの文化	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカの文化1	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカの文化2	(2)	○	○	○	○	○
	移住と文化の理論	(2)	○	○	○	○	○
	ラテンアメリカの文化と社会	(2)	○	○	○	/	/

公民：国際交流学部国際交流学科専門科目等

【表の見方】

※開講年度によって教科に関する科目の取り扱いが異なることがあるので注意すること。

● 1～3：● 1～3のそれぞれで、必ず1科目以上修得しなければならない科目。

○：教科に関する科目の修得単位数に認められる科目。

/：教科に関する科目の修得単位数に認められない科目。

【注意事項】

(1) A,Bの履修ルール：「シラバス」に記載のとおりとする。

(2) 「哲学A / 哲学A (2)」「哲学B / 哲学B (2)」はC L Aコア科目。

【教科に関する科目の最低修得単位数 (※● 1～3の単位数をそれぞれ含むこと。)]

2019年度以降入学者 高等学校：28単位

2018年度以前入学者 高等学校：36単位

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度				
			2022	2021	2020	2019	2018
「法律学（国際法を含む）、 政治学（国際政治を含む。）」	政治学概論	(2)	●1	●1	●1	●1	●1
	国際関係論	(2)	○	○	○	○	○
	人権保障と法	(2)	○	○	○	○	○
	近代国際関係史	(2)	○	○	○	○	○
	戦後国際関係史	(2)	○	○	○	○	○
	グローバル化と労働	(2)	○	○	○	○	○
	国際政治の基礎	(2)	○	○	○	○	○
	国際政治の見方	(2)	○	○	○	○	○
	国際機構と国際平和	(2)	○	○	○	○	○
	国際社会と法	(2)	○	○	○	○	○
	国際経済と法	(2)	○	○	○	○	○
	地域統合	(2)	○	○	○	○	○
	ヨーロッパ政治思想史	(2)	○	○	○	○	○
	安全保障	(2)	○	○	○	○	○
	日本政治思想史	(2)	○	○	○	○	○
	法でみる世界A	(2)	○	○	○	○	○
	法でみる世界B	(2)	○	○	○	○	○
	ジェンダーと法	(2)	○	○	○	○	○
	法でみる社会A	(2)	○	○	○	○	○
	法でみる社会B	(2)	○	○	○	○	○
「社会学、経済学 （国際経済を含む。）」	比較人権論	(2)	○	○	○	○	○
	比較政治制度論	(2)	○	○	○	○	○
	社会学概論A	(2)	●2	●2	●2	●2	●2
	社会学概論B	(2)	●2	●2	●2	●2	●2
	グローバル化する社会	(2)	○	○	○	○	○
	グローバル経済	(2)	○	○	○	○	○
	日本経済の歴史	(2)	○	○	○	○	○
	現代の日本経済	(2)	○	○	○	○	○
	統計で学ぶ社会問題（基礎）	(2)	○	○	○	○	○
	統計で学ぶ社会問題（応用）	(2)	○	○	○	○	○
	国際経済学	(2)	○	○	○	○	○
	途上国と開発経済学	(2)	○	○	○	○	○
	近代グローバル経済の発展	(2)	○	○	○	○	○
	開発援助論	(2)	○	○	○	○	○
	国際開発の理論と実践	(2)	○	○	○	○	○
	グローバル・ビジネス	(2)	○	○	○	○	○
	世界の格差と国際協力	(2)	○	○	○	○	○
	市民社会の国際協力	(2)	○	○	○	○	○
	アメリカと国際経済	(2)	○	○	○	○	○
	「哲学、倫理学、 宗教学、心理学」	国際交通ビジネス	(2)	○	○	○	○
ジェンダーと持続可能な開発（1）		(2)	○	○	○	○	○
ジェンダーと持続可能な開発（2）		(2)	○	○	○	○	○
身体と生命の社会学		(2)	○	○	○	○	○
現代家族と福祉		(2)	○	○	○	○	○
グローバル化する仕事と家族		(2)	○	○	○	○	○
在日外国人		(2)	○	○	○	○	○
余暇と旅行		(2)	○	○	○	○	○
民族問題から見た世界情勢		(2)	○	○	○	○	○
コーポレート・ガバナンスと日本企業		(2)	○	○	○	○	○
金融入門		(2)	○	○	○	○	○
マーケティング論		(2)	○	○	○	○	○
ヨーロッパ社会福祉史		(2)	○	○	○	○	○
哲学A / 哲学A (2)		(2)	●3	●3	●3	●3	●3
哲学B / 哲学B (2)		(2)	●3	●3	●3	●3	●3
世界の宗教	(2)	○	○	○	○	○	
儒教と世界	(2)	○	○	○	○	○	
前近代の中国思想	(2)	○	○	○	○	○	
イスラームと世界	(2)	○	○	○	○	○	
ヨーロッパ世界とキリスト教	(2)	○	○	○	○	○	
現代思想論	(2)	○	○	○	○	○	
イギリスの思想と宗教	(2)	○	○	○	○	○	
アメリカの思想と宗教	(2)	○	○	○	○	○	
キリスト教と文化	(2)	○	○	○	○	○	

音楽：音楽学部音楽芸術学科専門科目

【表の見方】

※開講年度によって教科に関する科目の取り扱いが異なることがあるので注意すること。

●1～14：●1～14のそれぞれで、必ず1科目以上修得しなければならない科目。

○：教科に関する科目の修得単位数に認められる科目。

/：教科に関する科目の修得単位数に認められない科目。

【注意事項】

(1) 科目名に網掛け：2018年度以前入学者対象科目。

(2) P A 個人実技15/30/45は2019年度以降入学者対象科目。

(3) A, B の履修ルール：「シラバス」に記載のとおりとする。

(4) 科目名の前に付いている記号

■：音楽学部内開放科目

☆①：「P A 副科個人実技 A, B」については、講義科目：ピアノデュオに限る。

☆②：「P A 副科個人実技 A, B」については、講義科目：鍵盤楽器伴奏法に限る。

☆③：「P A 副科個人実技 A, B」については、講義科目：声楽、ピアノデュオ、鍵盤楽器伴奏法、ポピュラー系キーボード、ソルフェージュ、自由作曲、コンピュータ音楽制作を除く

☆④：「P A 副科個人実技 A, B」については、講義科目：自由作曲に限る。

【教科に関する科目の最低修得単位（※●1～14の単位をそれぞれ含むこと。）】

2019年度以降入学者 中学校：24単位 高等学校：28単位

2018年度以前入学者 中学校：28単位 高等学校：36単位

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目名	単位数	修得年度				
			2022	2021	2020	2019	2018
ソルフェージュ	ソルフェージュA	(1)	●1	●1	●1	●1	/
	ソルフェージュB	(1)	●1	●1	●1	●1	/
	ソルフェージュIA	(1)	/	/	/	/	●1
	ソルフェージュIB	(1)	/	/	/	/	●1
	ソルフェージュIIA	(1)	/	/	/	/	●1
	ソルフェージュIIB	(1)	/	/	/	/	●1
声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	合唱I A	(1)	●2	●2	●2	●2	●2
	合唱I B	(1)	●2	●2	●2	●2	●2
	合唱II A	(1)	●2	●2	●2	●2	●2
	合唱II B	(1)	●2	●2	●2	●2	●2
	合唱III A	(1)	●2	●2	●2	●2	●2
	合唱III B	(1)	●2	●2	●2	●2	●2
	P A 声楽アンサンブル (スタンダード)	(1)	●2	●2	●2	●2	/
	P A 声楽アンサンブル (アドバンス)	(1)	●2	●2	●2	●2	/
	邦楽1	(1)	●3	●3	●3	●3	●3
	基礎声楽A	(1)	●4	●4	●4	●4	●4
	基礎声楽B	(1)	●4	●4	●4	●4	●4
	P A 教職実技 (声楽)	(1)	●4	●4	●4	●4	/
	P A 教職実技 (初見視唱・初見視奏)	(1)	●4	●4	●4	●4	/
	P A 個人実技15 (声楽)	(1)	●4	●4	●4	●4	/
	P A 個人実技30 (声楽)	(2)	●4	●4	●4	●4	/
	P A 個人実技45 (声楽)	(3)	●4	●4	●4	●4	/
	■ P A 副科個人実技A (声楽)	(2)	●4	●4	●4	●4	●4
■ P A 副科個人実技B (声楽)	(2)	●4	●4	●4	●4	●4	
P A オペラ	(1)	○	○	○	○	/	
器楽(合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	合奏	(1)	●5	●5	●5	●5	●5
	P A ピアノデュオ	(1)	●5	●5	●5	●5	/
	P A フルーツアンサンブル	(1)	●5	●5	●5	●5	/
	■ P A アンサンブル弦楽	(1)	●5	●5	●5	●5	/
	■ P A アンサンブル管楽	(1)	●5	●5	●5	●5	/
	■ P A アンサンブル管弦楽	(2)	●5	●5	●5	●5	/
	P A 室内楽	(1)	●5	●5	●5	●5	/
	P A 個人実技15 (室内楽)	(1)	●5	●5	●5	●5	/
	P A 個人実技30 (室内楽)	(2)	●5	●5	●5	●5	/
	P A 個人実技45 (室内楽)	(3)	●5	●5	●5	●5	/
	■ ピアノ・デュオA	(1)	/	/	/	/	●5
	■ ピアノ・デュオB	(1)	/	/	/	/	●5
	■ 弦楽アンサンブルA	(2)	/	/	/	/	●5
	■ 弦楽アンサンブルB	(2)	/	/	/	/	●5
	■ 管楽アンサンブルA	(2)	/	/	/	/	●5
	■ 管楽アンサンブルB	(2)	/	/	/	/	●5
	■ フルーツアンサンブルA	(1)	/	/	/	/	●5
	■ フルーツアンサンブルB	(1)	/	/	/	/	●5
	■ 室内楽1A	(1)	/	/	/	/	●5
	■ 室内楽1B	(1)	/	/	/	/	●5
■ キリスト教オルガン音楽実践A	(1)	/	/	/	/	●5	
■ キリスト教オルガン音楽実践B	(1)	/	/	/	/	●5	
■ ☆① P A 副科個人実技A (ピアノデュオ)	(2)	●5	●5	●5	●5	●5	
■ ☆① P A 副科個人実技B (ピアノデュオ)	(2)	●5	●5	●5	●5	●5	